

120719 山頂部にトンボが…

「[ダイヤモンドトレール](#)」で稜線部を歩いていると…

トレール脇の草地広場で、飛翔するトンボの姿が目に入りました。

日本を代表する「赤トンボ」である「アキアカネ」は、盛夏の期間、山頂付近で避暑しているようですが、今回出会ったこのトンボも避暑に来ているのでしょうか…

◆写真①～③： 赤トンボ…？

◇比較的高い位置の枝に止まっている数頭の個体を観察すると、体長は4cm強、翅の付け根がオレンジ色、側胸部には黄色地に太い黒条が目立っていますが、あまり見かけない種ですね…

◆写真④： ネキトンボ

◇前記①～③と同種のトンボが、低いところにとまっていたので、そっと近づいて接写！

◇「ネキトンボ」の未成熟個体でした。

◇この種は、未成熟期に山に入り、稜線部や林道沿いの木の梢にとまっている姿を見かけることがあるそうです。

◇でも未成熟個体はともかく、成熟個体も見つけない方がおられると思いますが、この種、大阪府と奈良県では「準絶滅危惧種」に位置づけられているのです。

↓

<http://www.jpnrdb.com/search.php?mode=map&q=07040140206>

◆写真⑤： ウスバキトンボ

◇前記のネキトンボと同じ場所にいました。

◇体長5cmほどで、薄いオレンジ色をしたトンボです。

◇よく公園の芝生の上を群れ飛んでいる姿を目にしますが、この種は「赤トンボ」の間ではありません。

◇卵は産卵後3～4日で孵化、その後40日ほどで羽化するという、超スピード成長する種で、1年に何世代も羽化するのです。

◇そして世代交代を繰り返しながら北上していくのですが、南西諸島より寒い地域では冬季に幼虫は死滅してしまいます…

◆写真⑥・⑦： オオシオカラトンボ (♂)

◇先の2種は、稜線部付近で見つけたのですが、本種は山麓部で見つけました。

◇「オオ」と名付けられていますが、体長は5cm強程度と「シオカラトンボ」とほぼ同じ大きさですので、何故「オオ」とされたのかは謎ですね…

◇シオカラトンボに比べて、周囲が樹林に囲まれた閉鎖的な環境を好むようです。

◇どうやら、「キマダラセセリ」を捕まえて、食べているところみたいです。













